

花は咲く



6年生のみなさん ご卒業 おめでとうございませう(*^_^*)

本日、37名の卒業生が旭ヶ丘小学校を巣立っていきました。4月からは、それぞれの地で中学校生活が始まります。旭ヶ丘小学校で学んだことを生かして、楽しい中学校生活を自分たちの力で作り、心も体も一層たくましく成長して行ってほしいと願っています。卒業生一人一人が感謝の心と思いやりの心を持ち続け、夢と希望をもって、今、自分にできることに全力を尽くしていくことを期待しております。



3学期 終業式 (平成30年3月16日)より



今日は、3学期の終業式です。平成29年度の学校での勉強は、今日で終わりです。去年の4月から今日まで、授業以外にも生活のきまりや友だち関係などたくさんのことを学んで、心も体も成長し、明日は6年生が旭ヶ丘小学校を卒業していくこととなりました。

ところで、今は平昌パラリンピックが開催されています。2月はオリンピックがありました。みなさんは誰の、どんなシーンが印象に残りましたか？長野県の選手もたくさん活躍しましたよね。その中で私はなんと言っても小平奈緒選手です。小平選手は500mで滑り終えた時、銀メダルとなったライバルであり親友の韓国のイ・サンファ選手と抱き合いお互いを讃え合ったシーンが今も目に焼き付いています。そのとき私はライバルである選手同士がお互いを讃え合う姿にこれがオリンピック精神、スポーツの世界なんだと感じ、感動で一杯になりました。そして実は小平選手が滑り終わったあとも神対応とも思われることをしていました。それは小平選手が滑り終わりトップに躍り出て会場全体がわき上がっている時に、小平選手は会場の観客に向かい、滑りながら唇に指をあてて「シー」という仕草をしたのです。それを見た観客はすーっと静かになったのです。それは次に滑る韓国のイ・サンファ選手への気配りでした。そんな対応のできる小平選手とお父さんについて少しお話ししたいと思います。

小平選手が茅野東部中学校1年生の2000年の冬、全国中学校大会に出場する直前にお父さんからこう言われたそうです。それは「よい成績がとれるように頑張れよ！」という言葉ではなく、「とにかく友だちをたくさんつくってこい！」と言われたそうです。そして大会に行くときは「周りの人にちゃんとあいさつをしなさい」とは言われたそうですが、「表彰台を狙え」なんてことは言われなかったそうです。小平選手はお父さんの教えのように、友だちをつくることやあいさつをしっかりとすることで、自分から少しずつ人の輪を広げていきました。オリンピックではライバルであり友だちである李相花(イ・サンファ)選手と話すために韓国語を覚え、オランダへ留学したときはオランダ語を覚えました。そういうことが選手として成長するヒントとなったそうです。競技のプレッシャーをどうやって乗り越えるか、最後に笑顔が出たら結果はどうあれ素晴らしいとお父さんは言っています。このような教えや小平選手自身のスケートの技術以外の努力もあってこそその金メダ

ルだと思いました。

私が皆さんに伝えたいことは、自分から人の輪を広げていくことの大切さです。みんなのあいさつで学校全体が仲良くなりました。私たちは一人では生きていけません。そういう意味で家族や先生や友だち、地域の方々に対してとても感謝ですね。これからも自分から人の輪を広げて行って欲しいと思います。

6年生は明日、旭ヶ丘小学校を卒業します。1年生から5年生は6年生とお別れになるわけですが、「事」や「物」や「人」との別れのほかにも、「別れ」にはこんな意味もあります。『怠けてしまう自分と別れる。』『友だちにいやなことをしてしまう自分と別れる。』『黙って掃除ができない自分と別れる。』別れとは、新しい自分を作っていくチャンスの時でもあるのです。しっかりと別れができた人は、4月になれば「新しい教室、新しい仲間、新しい先生、新しい気持ち」で、新しい出会いができるのです。つまり、4月にいい出会いのできる人になれるのです。しっかりと別れをする日は、明日です。いい別れをしてください。

最後に春休みの生活について、お話します。気候は春らしくなり、気持ちもうきうきしてしまいます。しかし、そういう時に事故は起きやすくなります。自分の命・家族や友だちの命や生活を守るため、「交通ルールを守る！道路の歩行、自転車の乗り方、急な飛び出しはしない」「危険な遊び・行為をしない」など、春休みの生活のきまりを意識して、いい休みにしてほしいと思います。新年度、4月5日(木)の入学式・始業式に新入生を迎え、元気に旭ヶ丘小学校の1年生から5年生が、そして6年生は、希望に満ちた中学校生活のスタートを切れることを期待しています。



6年生を送る会 3/8



6年生による先生方への感謝の会 3/12

☆保護者の皆様・地域の皆様へ

平成29年度も旭ヶ丘小学校の教育活動に対してご理解とご協力をいただき、本当にありがとうございました。平成29年度末人事異動で転退任の先生方があります。

湯本 和子 (校長)	中野市立科野小学校へ
花形 敏郎 (教頭)	定年退職 再任用で中野市立中野平中学校へ
林 正明 (6年愛組担任)	岡谷市立川岸小学校へ
窪田 浩明 (明組担任)	須坂市立日滝小学校へ
矢嶋 郁子 (音楽・家庭科専科)	須坂市立森上小学校へ

校長は2年、教頭は5年、3人の先生方もそれぞれ勤務の長短はありますが、旭ヶ丘小学校の子どもたちの明るい笑顔、元気なあいさつ、そして何より、日々前進していった学習に打ち込む前向きな姿を嬉しく思い、子どもたちの為がんばってきたつもりであります。至らないところも多々あったかと思いますが、保護者・ご家族の皆様、地域の皆様に支えていただきまして、今日まで教育活動に精一杯努めてまいることができましたことに心より感謝申し上げます。大変お世話になりました。最後になりましたが、全ての皆様方のご厚情に感謝し、子どもたちがそれぞれの夢と希望をもって、さらに大きくたくましく成長することを祈って転退任のあいさつとさせていただきます。

校長 湯本 和子